

# 特別調査

## 「平成23年の経営見通し」について

日本銀行盛岡事務所が発表した12月の岩手県企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の業況判断指数DIは、製造業、非製造業とも悪化。先行きについても、製造業、非製造業とも悪化の予測となりました。そのような中、昨年に続き経営者の皆様に「平成23年の経営見通し」についてお聴きいたしました。(回答数385先)

### 平成23年 日本の景気見通し...「悪い」が88%(昨年91%)

平成23年の日本の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)が2%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が88%となりました。この結果、「良い(A)ー悪い(B)」は-86と、一年前の調査(-88)に比べ2ポイント上昇しました。各回答の構成比と比べてみると「普通」が3ポイント増加、「良い」は1ポイント減少し、昨年6ポイント上昇した「悪い」は、3ポイントの上昇に止まり、中小企業の景気に対する先行きの期待感に足踏み状態が見られそうです。

	良い(A)			普通	悪い(B)			(A)(B)		
	非常に良い	良い	やや良い		やや悪い	悪い	非常に悪い			
製造業	(2) 4	0	0	(9) 4	(86) 91	42	42	7	(-84) -87	
卸売業	(0) 3	0	0	(4) 7	(92) 87	26	50	11	(-92) -84	
小売業	(4) 1	1	0	(3) 6	(91) 87	35	43	9	(-87) -86	
サービス業	(1) 1	0	0	(4) 9	(93) 87	41	38	8	(-92) -86	
建設業	(3) 0	0	0	(4) 9	(90) 88	29	45	14	(-87) -88	
不動産業	(0) 8	0	0	(4) 8	(94) 81	30	47	4	(-94) -73	
合計	(3) 2	0	0	(4) 7	(91) 88	36	43	9	(-88) -86	
平成22年見通し	3	0	1	2	4	91	35	39	17	-88
平成21年見通し	1	1	0	0	3	97	28	46	23	-96
平成20年見通し	4	0	0	4	18	77	45	26	6	-73
平成19年見通し	11	0	1	10	27	61	37	19	5	-50
平成18年見通し	14	1	1	12	24	59	33	22	4	-45
平成17年見通し	6	0	1	5	16	77	38	33	6	-71
平成16年見通し	7	0	1	5	11	82	40	31	10	-75
平成15年見通し	2	0	0	1	3	94	27	45	20	-92
平成14年見通し	2	0	0	2	6	91	30	44	16	-89

[単位：％(内は平成22年見通し結果を示す。数値は小数点第一位以下切り捨てのため合計値は100になりません。(但し1未満は1に切り上げ)]

### 平成23年 自社の業況の見通し...「悪い」が74%(昨年78%)

平成23年の自社の業況については、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)が4%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が74%となりました。この結果、「良い(A)ー悪い(B)」で見ると-70となり、一年前の調査(-73)に比べ3ポイント上昇しました。これを業種別にみると、サービス業が-73、小売業が-72、建設業-72、卸売業-64、不動産業-64、製造業-62の順となり、全ての業種で業況の見通しは引続き厳しいものの、小幅な改善の状況が続くものと見込まれています。

	良い(A)			普通	悪い(B)			(A)(B)		
	非常に良い	良い	やや良い		やや悪い	悪い	非常に悪い			
製造業	(7) 5	0	0	(18) 26	(74) 67	45	18	4	(-67) -62	
卸売業	(8) 11	0	0	(4) 11	(84) 75	42	30	3	(-76) -64	
小売業	(7) 3	0	0	(9) 18	(81) 75	38	29	8	(-74) -72	
サービス業	(2) 2	0	0	(18) 20	(77) 75	51	19	5	(-75) -73	
建設業	(3) 1	0	0	(18) 24	(76) 73	39	23	11	(-73) -72	
不動産業	(0) 8	0	0	(13) 17	(86) 72	47	21	4	(-86) -64	
合計	(5) 4	0	0	(14) 21	(78) 74	43	24	7	(-73) -70	
平成22年見通し	5	0	1	4	14	78	40	28	10	-73
平成21年見通し	3	0	1	2	10	86	45	31	10	-83
平成20年見通し	8	0	0	8	23	69	43	20	6	-61
平成19年見通し	11	0	1	10	30	57	34	18	5	-46
平成18年見通し	12	1	1	10	28	60	36	20	4	-48
平成17年見通し	8	0	1	7	23	66	39	22	5	-58
平成16年見通し	7	0	2	5	24	69	40	21	8	-62
平成15年見通し	5	0	0	4	17	77	38	27	10	-72
平成14年見通し	4	0	0	4	12	82	44	31	7	-78

[単位：％(内は平成22年見通し結果を示す。数値は小数点第一位以下切り捨てのため合計値は100になりません。(但し1未満は1に切り上げ)]

## 平成23年 自社の売上額の見通し...「減少」が52%(昨年61%)

平成23年の自社の売上額は、「増加」が13%、「減少」が52%となりました。「増加(A)ー減少(B)」の伸び率は-39となり、一年前の調査と変わらず9ポイントの上昇となりました。

これを業種別にみると、小売業が-46、サービス業-39、製造業-34、建設業-32、卸売業-31、不動産業-22の順となり、売上額も小幅ながら全ての業種で改善されると見込まれています。

	増加(A)					変わらない		減少(B)					(A)(B)			
	30%以上	20~29%	10~19%	10%未満			10%未満	10~19%	20~29%	30%以上						
製造業	(10)	14	0	0	2	12	(29)	33	(56)	48	26	19	2	1	(-46)	-34
卸売業	(16)	22	0	0	7	15	(16)	19	(64)	53	42	11	0	0	(-48)	-31
小売業	(13)	14	0	0	3	11	(18)	22	(64)	60	41	15	3	1	(-51)	-46
サービス業	(13)	12	0	0	1	11	(22)	31	(60)	51	36	12	2	1	(-47)	-39
建設業	(12)	15	1	1	0	13	(21)	34	(62)	47	19	19	6	3	(-50)	-32
不動産業	(8)	16	0	4	4	8	(30)	43	(59)	38	21	13	0	4	(-51)	-22
合計	(13)	13	0	0	2	11	(22)	29	(61)	52	33	15	3	1	(-48)	-39
平成22年見通し	13	1	1	3	8		22		61	35	17	5	4			-48
平成21年見通し	13	1	1	2	9		18		70	39	22	5	4			-57
平成20年見通し	20	0	1	5	14		30		50	31	13	3	3			-30
平成19年見通し	26	1	1	5	19		34		40	26	11	1	2			-14
平成18年見通し	22	0	1	4	17		31		43	27	11	3	2			-21
平成17年見通し	20	2	1	4	13		31		46	29	12	3	2			-26
平成16年見通し	18	1	1	3	13		28		54	35	12	5	2			-36
平成15年見通し	21	0	0	4	14		21		57	31	15	6	3			-36
平成14年見通し	13	0	0	2	10		21		64	29	23	7	3			-51

[単位：%]内は平成22年見通し結果を示す。数値は小数点第一位以下切り捨てのため合計値は100になりません。(但し1未満は1に切り上げ)

## 自社の業況が上向く転換点...「見通しが立たない」が37%(昨年35%)

自社の業況が上向く転換点については、「すでに上向いている」の回答割合が5%となり、一年前の調査(2%)に比べ3ポイント上昇しました。また「6ヵ月以内」と「1年後」の回答割合の合計は21%となっており、約3割が平成23年を業況改善の転換点と予想しています。一方「業況改善の見通しは立たない」の回答割合は37%と一年前の調査(35%)に比べ2ポイント上昇しました。業種別にみると、「業況改善の見通しが立たない」との回答数が増加したのは建設業、小売業で、その他の業種では減少となりました。

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計(%)
すでに上向いている	4	11	6	6	3	0	5
6ヵ月以内	7	7	6	0	6	4	5
1年後	19	23	12	20	9	21	16
2年後	18	0	9	9	19	26	13
3年後	8	11	12	16	4	8	10
3年超	7	3	6	9	4	13	7
業況改善の見通しは立たない	31	34	43	29	49	26	37
前回見通しが立たないと回答した先	36	36	36	36	34	30	35

(単位：%)

## 昨今の円高による影響を受けているか

悪い影響・・・「取引先の業況悪化による間接的な悪化影響」が16%  
 いい影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「仕入れ価格の低下」が5%

円高の影響について、悪い影響は、「取引先の業況悪化による間接的な悪化影響」が16%、続いて「輸入品増加による競争激化」が5%、「取引先の海外進出を受けて受注減少」、「輸出品の採算悪化・競争力激化」が2%になっています。一方、いい影響は、「仕入れ価格の低下」が5%になっています。また、円高による影響に対しては、60%の先が「影響ない」と回答しています。

		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計(%)
いい影響	仕入れ価格の低下	4	11	8	2	0	4	5
	売上の増加	1	0	0	0	0	0	0
	海外展開へのハードルが低下	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	4	2	4	4	3
悪い影響	取引先の海外進出を受けて受注が減少	4	3	0	1	4	0	2
	輸出品の採算悪化・競争力低下	1	3	3	0	3	0	2
	輸入品増加による競争激化	9	3	9	0	0	0	5
	取引先の業況悪化による間接的な悪化影響	22	15	10	15	18	34	16
その他	1	0	4	2	4	4	3	
影響ない		50	53	58	75	63	52	60

(単位：%)